

# 令和5年度入試【総合型選抜Ⅱ】

## 小論文

(人間科学部)

### 注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は7ページです。解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚です。  
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
- 4 字数を指定したものは、句読点を字数に含めて数えてください。アラビア数字は2  
字で1字として計算してください。
- 5 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 6 試験終了後、問題紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

## 人間科学部 小論文 問題

---

1

次の文章を読んで、問1、問2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(ロラン・バルト『表徴の帝国』ちくま学芸文庫)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典：松田雄馬（2020）『人工知能に未来を託せますか？—誕生と変遷から考える』岩波書店、15-27頁。一部を改変してある。

#### 問1

下線部 A では、筆者の考えが示されている。筆者は、人間の創造性をどのようにとらえ直せば、現代の情報社会が新しく生まれ変わる可能性があると考えているか。日本武道もしくは日本文化の考え方を例示しながら 300 字程度で記述しなさい。

#### 問2

下線部 B で筆者は、「人とコンピュータの共生」について、リックライダーの考えとは「異なる視点」が見えてくると述べている。筆者が述べる「異なる視点」の内容を 400 字程度で説明しなさい。その際、人間と機械それぞれの得意とするものと役割分担を明確にしながら記述すること。

次の [A] [B] の図および文章を読んで、問 1、問 2 に答えなさい。

[A]

図 1 は、年齢区分別（15 歳～64 歳と 65 歳以上）の有業者数と、有業者総数（15 歳以上）に占める 65 歳以上有業者の割合の推移を表している。

なお、有業者とは、ふだん収入を得ることを目的として仕事をしている者、および仕事は持っているが、現在は休んでいる者をいう。

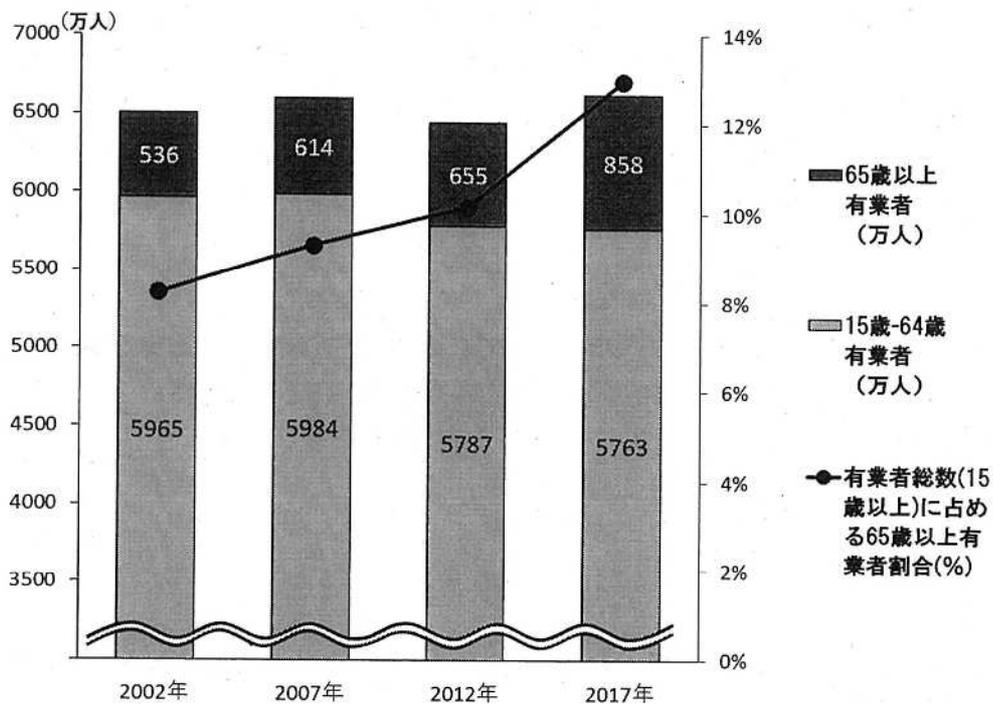


図 1 年齢区分別の有業者数の推移および有業者総数に占める高齢者の割合の推移

出典：総務省統計局「就業構造基本調査」2002年～2017年のデータより作成。

問 1

図 1 には、有業者総数（15 歳以上）に占める 65 歳以上有業者の割合が上昇していることが示されている。その理由について、年齢区分ごと（15 歳～64 歳と 65 歳以上）の有業者数の増減に着目して、80 字程度で説明しなさい。

## [B]

図2-1は、65歳以上の無業者のうち就業希望者、つまり、就業希望があるにもかかわらず就業していない者の総数の推移を示している。

なお、無業者とは、ふだん収入を得ることを目的として仕事をしていない者、および臨時的にしか仕事をしていない者をいう。

また、図2-2では、65歳以上で、現在、収入のある仕事をしていないが、収入のある仕事に就きたい者を対象に「あなたが収入のある仕事に就きたいと考えているにもかかわらず、仕事をしていない理由」を調査した結果を示している。

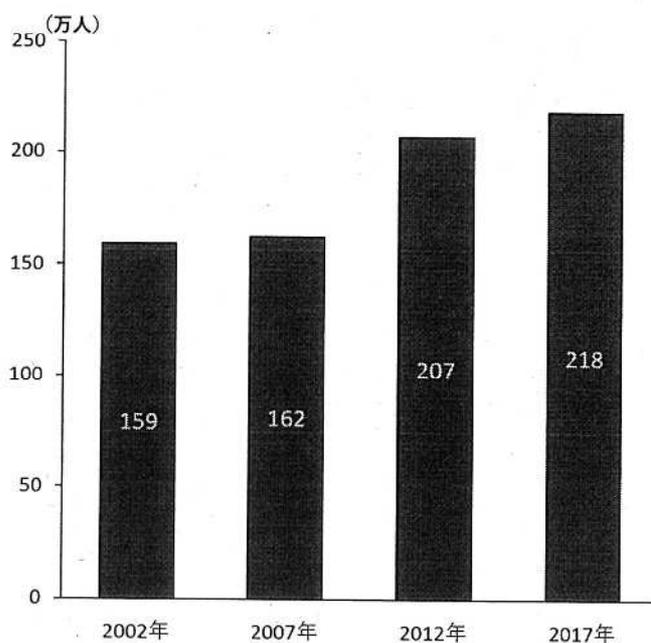


図2-1 65歳以上の無業者のうちの就業希望者の推移

出典：総務省統計局「就業構造基本調査」2002年～2017年のデータより作成。

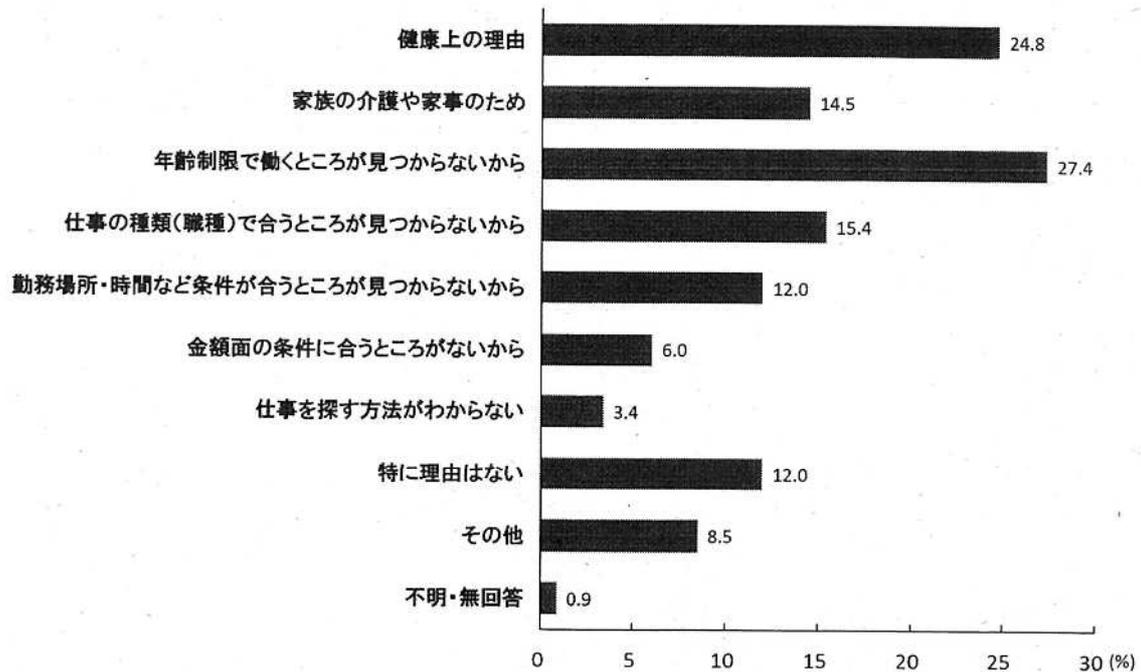


図2-2 65歳以上の者が、収入のある仕事に就きたいと考えているにもかかわらず、現在、仕事をしていない理由

出典：内閣府（2019）「高齢者の経済生活に関する調査」より作成。

## 問2

図2-1および図2-2に目を通し、現在の高齢者の雇用について、あなたが読み取った「課題」を1つあげなさい。さらに、その課題に対して、どのような「取り組み」が必要と考えるか。あなたが考える取り組み（例えば、政治・行政による政策といった制度的取り組み、民間組織が行う非制度的な取り組み、雇用企業側に求められる取り組み、就労希望者自身に求められる取り組み等）について、300字程度で論述しなさい。